

浜石岳山行報告

【山行日】2024年 12月 22(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 8,400円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬+
植竹、大塚、根本

【コースタイム】岩舟支所 P4:00 = 薩埵峠
P6:50/7:10 = 青少年野外センター 7:35/7:45 ~
浜石岳 8:15/8:35 ~ 小島峠 9:20 ~ 承元寺分岐
10:40/10:50 ~ 薩埵峠 P11:15/11:25 = 焼津おさか
なセンター 11:55/13:00 = 岩舟支所 P16:00



美しい富士山が見える山に登りたいとリクエストがあり、色々考えたが富士山と駿河湾の絶景が望める浜石岳を計画した。6名での山行予定だったが、当日キャンセルが有り5名が岩舟支所を4:00に出発した。東北道から圏央道、東名高速道を走り、清水 IC で降りて国道1号線から国道52号線へ右折しすぐに興津大橋を渡る。直ぐ左折して高速道路をくぐり、十字路を右折して道なりに登って



行くと薩埵峠の駐車場に着く。丁度1台分駐車スペースが空いていて、車を止めて出発の準備をしてトイレを済ませる。間もなく予約したタクシーが到着し、2台のタクシーに乗って登山口がある青少年野外センターに向かう。野外センターの駐車場でタクシーを降り、ストレッチを行ったら出発する。炊事場とトイレの間を進むと登山口に出て、植林帯の中に付けられた登山道を登って行く。アップダウンを何回か繰り返しながら登ると分

岐に出て、左は薩埵峠に向かい右は浜石岳山頂に向かう道である。右に進むと緩やかな登りが続き、植生もアセビの木が多く展望も開け気持ち良い尾根を登って行く。やがて山頂に着くと大展望が待っていて、正面に愛鷹山を右側に従えた秀麗な富士山がドーンと聳えている。山頂は平坦で広く芝生広場になっており、文字通りの360度の大展望が得られる。皆さん大感動で富士山をスマホに収め、あっちこっちに移動してベストアングルを見つけ写真を撮りまくっていた。



皆さんの興奮がおさまったらベンチに腰掛け、リングやチョコなどのおやつをいただく。おやつを食べながら「富士山と海の両方が見られるのがいいよね！」と満足そうにうなずいていた。おやつタイムが終わったら全員集合の記念写真を撮り、登って来た道に戻って薩埵峠へ向かう。

左手に駿河湾を見ながら爽快に下って行き、往路の分岐に出たら直進し下って行く。ここからは展望が無い樹林帯の道が続くが、初めて歩く道は新鮮らしく皆さん楽しそうに歩いて行く。但沼分岐は



直進し緩やかに上り下りを繰り返すと小島峠に着く。ここからも同じような山道を進むと送電塔の開けた場所があり、小休止して景色を楽しみながらおやつタイム。リンゴや菓子をいただきながら、疲れた足を休める。

ここからは登りはほとんど無く、楽な下りが続くので会話が弾む。やがて竹林の中を下るようになり、錆びたモノレールが出てくるとミカン畑の中を下るようになる。ミカン畑の中を下ると舗装道路に出て、海を見ながら右に下ると薩埵峠の駐車場に着く。ここは昔から

通行の難所と言われたところで、旅人は通行に苦労したらしい。富士山の名所にもなっていて、江戸時代を代表する浮世絵師、歌川広重が東海道五十三次の「油井」に描いた場所である。トイレの脇に取れたてミカンの無人販売所があり、1袋250円でいただいた。靴を履き替えてトイレを済ませたら車に乗り、焼津のおさかなセンターへ向かった。おさかなセンターは昼時で混雑し、中々駐車場へ入れなかったが、反対側から廻って何とか止めることが出来た。まずは海鮮丼の店に直行し、お目当てのマグロ丼をいただいた。女性達はマグロとしらす丼をゲットし、とても美味しいと満足そう。お腹が満たされたら市場へと繰り出し、お魚を買いに気合が入る。女性達はしらすや桜エビをゲットしたようで、我輩はサバやアジの干物をゲットした。買い物しながら市場を一周し、買い物が無事終了して駐車場へ戻った。焼津ICから東名高速に入り、往路を戻って岩舟支所に向かう。高速道路は渋滞も無く順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。

